



学校データ
【学級数】
 6 学級
【児童生徒数】
 113 人
【地域コーディネーターの有無】
 有

「大地の芸術祭」を活用した人間関係形成能力を育む取組

1 はじめに

当校は信濃川上流の兩岸の河岸段丘に集落や田畑が点在する自然豊かな中山間地にある。全国でも有数の豪雪地でもある。学区は、地区振興会や商工会が精力的に活動するなど、まとまりのある元気な地域である。当校のコミュニティ・スクールもそれらと連携して、教育活動活性化に努め、環境整備も含め地域全体が協力的である。



地域関係者との会議

昨年度の学校運営協議会で「ふるさとを大切にする心」「しっかりとした社会性、広い視野をもち力強く自立して生きようとする姿勢」を育てていきたいという願いが挙がり、3年に1回開催される「大地の芸術祭」を活用した実践に取り組むことにした。そして、この実践を通し、生徒がふるさとを愛する心を育み、コミュニケーション能力を高め、併せて地域力が高まることも期待して取り組んだ。

2 取組の実際

(1) ジミー・リャオさんとの交流

平成30年5月15日(火)に学区内の小学校5、6年生と合同で、芸術祭参加の絵本作家ジミー・リャオさんとの交流会を行った。これは、ジミーさんが当校学

区にあるJR 2つの駅に隣接する場所に作品を作り、これが公民館や他の会場と共に、地域のおもてなし活動の活動拠点となっているからである。事前にメッセージカードを作成し、一人一人がそれを手渡すなど、芸術祭を身近に感じられる活動になった。



ジミー・リャオさんの作品

(2) 「大地の芸術祭おもてなし活動」

大地の芸術祭の開催期間に、地域商工会との協働でボランティアを結成して次の活動を行った。

○期間：平成30年7月30日(月)～8月10日(木)

○場所：土市駅、越後水沢駅

○参加生徒：3年生全員が1人1～4回。

1回当たり2時間15分の活動。

○活動内容：駅の案内所で、地域の方と一緒にお茶の提供、案内マップ配布、道案内を行う。

この活動の様子を参加した生徒の感想から紹介する。

◇『おもてなしグッズ』をうまく使って、おもてなしができた。ガイドブックを見てみると自分の知らない事がたくさん書いてあり、とても勉強になった。

◇今日はずっと外で掃除、接客を続けて

いた。4回目
となると、こ
の時間に上り
下りどちらが
くるかと答え
られることが
でき、お客さ



ボランティア打合せ

さんを満足させることができた。数をこなすごとに語彙力が上がってきた。

◇暑い中、日本人や外国人の方々が見に来てくれ、大地の芸術祭は本当にすごいと分かった。完璧にやるのが全てじゃなく、気軽に話せるスキルも重要だと分かった。

これらの生徒の感想から、活動を通して新しい発見や喜び、英語を活用する力の向上など、様々な気づきがあり、充実感を得ることができた様子がかがえた。また、地域の方々も生徒と一緒に活動し、生徒が笑顔で挨拶したり、英語を話したり、自分から声をかけたりする姿を頼もしく感じたという感想をいただいた。

3 成果と課題及び本実践で育成された資質・能力

(1) 成果

「おもてなし活動」では、事前に担当課と双方のニーズを確認、協議したこともあり、教室での学びと



案内所おもてなし活動

関連性をもたせることができた。ある生徒は、次のように感想を述べた。

◇外国人に対する受入体制が必要とされる中、私たちには何ができるのかを改めて考えることができた。実際に、外国人と話すことは、とても勇気のいることだし、少し緊張してしまうことも

あった。でも十日町の良いところを少しでも伝えられるようにと思い、一所懸命ボランティアができて、良かった。多くの方が「また十日町を訪れたい」と思ってくれたらとてもうれしい。

この生徒のように、社会や地域が直面する問題に思いを寄せ、当事者として共生を目指そうとする姿勢が見られるなど、地域に居ながらにして世界や未来を考える学びになっていった生徒もいた。

また、公民館や商工会をはじめ、地域の方々から中学生の活躍ぶりに高い評価をいただいた。この活動を通して、次のような資質・能力が育まれたと考える。

○人間関係を調整すること

- ・他者の個性を尊重すること
- ・自己の個性を発揮すること
- ・地域の課題解決に向け、様々な人と協力・協働すること
- ・コミュニケーションを図ること

○グローバルに物事を考えること

(2) 課題

毎年恒例の教育活動に加え、プラス1となるため、教職員の負担増は避けられない。まして前例のない新企画となるのでさらに困難さが生じた。また、長期休業中で3年生の活動となったように、時期や学年が限定されてしまう。このように課題はあるが、未来を見据えた教育的価値の高い事業はぜひ実施したいと考えている。

4 おわりに

水沢中学校は他にも「学校林活動」など、他にあまりない地域ぐるみの活動を展開している。これからも「オンリー1」の新鮮な教育活動を実践するパイオニア精神を大切に、マンネリ化防止に努めるとともに、より効果の上がる取組を模索し、元気な地域と共に歩む元気一番！の水沢中学校でありたいと願っている。